

## 事務局だより

### 会議報告

平成25年10月1日より平成26年3月31日まで  
◆第9回理事会

月日…平成26年2月27日  
場所…主たる事務所  
出席…理事 監事  
決議事項…

- ①平成25年度追加助成事業並びに助成金額変更の件
  - ②国宝本殿2棟修理及び周辺整備助成事業準備資金取扱要領の変更の件
  - ③自平成25年4月1日至平成26年3月31日事業年度に係る補正予算書類の件
  - ④自平成26年4月1日至平成27年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算書の件
  - ⑤資金調達及び設備投資の見込みの件
  - ⑥国宝本殿2棟修理及び周辺整備助成事業準備資金の積立ての件
  - ⑦顧問就任の件
- 報告事項…  
①自平成25年6月4日至平成26年2月26日の理事長および専務理事の職務執行の報告  
②会員数の報告

### 会員数報告 (平成26年2月10日現在)

賛助会員	53件
団体・法人会員	38件
個人会員	1,194名
合計	1,285件

平成26年度会員証および特典パンフレット

平成26年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成25年度会員証は6月30日まで有効ですのでご利用いただけます。

### 新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産紀の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしく願っています。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

### ご寄付のお願い

平成25年度も多くの皆様からご寄付をいただき紀の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成26年度も引き続きご寄付をよろしく願っています。同封の振込用紙をご利用ください。

## 下鴨神社だより



4月29日 市民植樹祭(午前9時～)  
5月3日 流鏝馬神事(午後1時～)

5月12日 御蔭祭 (午前9時～)  
5月15日 賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)  
6月14日 螢火の茶会 (午後5時～)  
7月26日～29日 みたらし祭 (午前5時半～)  
8月6日 矢取り神事(午後6時半～)  
9月8日 名月管絃祭(午後6時半～)

## 催事案内 遊び、学ぶ、紀の森のつどいあれこれ

### 第24回 紀の森市民植樹祭

日時：4月29日(火・祝)午前10時～12時  
場所：紀の森馬場特設会場

※「紀の森」は3万6千坪の森で、古代山代の樹林を構成していた樹種がそのままに自生し、原生林の植生を伝える学術的、文化的に貴重な自然林で世界遺産です。この森を守るため、毎年「市民植樹祭」を実施し、多くの方々に植樹をしていただいております。当日受付しますのでお気軽にご参加ください。



#### ■苗木植樹

ムク・エノキ・カツラなどの苗木を植樹していただけます。子どもも大人もどなたでも参加OK。森の育成にご協力ください。

参加費：1,000円(1名)

※スコップ・花鉢付き

申込：当日9時から会場受付にて

#### ■成木献木

子どもや孫の誕生、結婚30周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問い合わせ、お申込みは事務局まで。

献木代：150,000円(1本)

事務局：下鴨神社内 ☎075-781-0010

申込：4月20日までにお願いします

# 紀の森財団会報

平成26年3月31日発行  
通号57号

## Vol.9

# 紀の森



紀の森ぶらりぶらり 第8回  
都市の原風景  
紀の森NEWS／催事案内

表紙写真／水野克比古

編集・発行

公益財団法人  
世界遺産賀茂御祖神社境内紀の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

# 紀の森

題字  
賀茂御祖神社  
新木直人宮司



糺の森財団

理事 豊田 章男

(トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長)



皆様から多大なご支援をいただき、環境保存に取り組んでおります「糺の森」の価値は、多方面から伺うことが出来ます。古代の植物の姿や祭祀の遺跡を有する、学術的に貴重な森であることは、かねてより実施している保存整備事業に係る調査が明らかにしています。このように、森の歴史を振り返ることは、我々の先人が築いた社会の暮らしを垣間見ることに繋がると考えております。

糺の森は古くから人々に親しまれ、平安時代に書かれた源氏物語や枕草子をはじめ、多くの和歌集などの古典にもその名を残しています。例えば、平安中期の女流歌人、赤染衛門は、自身の歌集「赤染衛門集」に糺の森を訪れた時のことを、「京都の紅葉は終わりを迎えたが、糺の森のもみじはまだ散らずに残っている」という内容の歌に詠んでいます。現在でも、紅葉は京都で一番遅く、十二月上旬ごろから参拝者の皆様を楽しませていきます。

人類は、暮らし豊かな社会を実現しようとして技術を発展させてきました。近年の進歩は著しく、日々の生活の広がり可能性に満ちています。加えてこの発展は、企業と地域社会の互助を柱に継続しているのです。社会貢献には様々な方法がありますが、一つは自然環境の保全が挙げられます。糺の森には希少な動植物が生息しており、この保護には森の整備、保存が不可欠です。

当財団は、糺の森の保存が、私たちの未来を豊かにする礎となることを願って、種々活動を行っております。千年近く昔、赤染衛門が見たもみじが、現代を経て、末永く森を訪れた人の心に感動を与え続けられるよう、更なるご協力を重ねてお願い申し上げます。

# 都市の原風景

京都大学名誉教授・花園大学教授

高橋 康夫

私は中世都市史の研究者なのですが、しばしば時代の枠を超えて都市が成立する前の土地の状況、いわゆる都市の原風景を想像することがあります。那覇市の原点である東シナ海に浮かぶ小さなサンゴ礁の島とか、札幌市の母胎というべき札幌原野の景観（北海道大学の植物園のなかに残る？）といったことです。

京都の原風景については二十年ほど前「大阪湾から海水が入ってきていた太古の時代には、孤立した丘陵である船岡山や双ヶ丘、神楽岡は海上に浮かぶ島であったようである。いかにも神仙思想の三神仙島を思い起こさせるイメージであり、始原的・幻想的な風景として興味深い」と記しました。そして平安京の選地と深くかかわるそれらの山を「平安京三山」

糺の森  
ぶらりぶらり  
第八回





とよび、都市と自然のかかわりを考え、今も興味を持ち続けています。

糺の森にも、京都という都市の原風景への思いを強く刺激するものが潜んでいるようです。糺の森の植生については、近年、詳細な調査が行われ、また文献史料や古地図などを活用した景観変遷の研究も積み重ねられてきています。私はもちろん門外漢ですが、興味にあわせて成果を拾いあげてみますと、①現在、多くを占めるクスノキは植栽されたものであること、②ムクノキやエノキ、ケヤキなどのニレ科の落葉広葉樹が本来的な樹種であること、③それらは河畔林の特徴を示すこと、④糺の森の景観変化は、自然災害からの復興も含め、平安京以降の都市生活の変化を映し出



していること、などがあります。賀茂川と高野川の出合うところ、そして平安京・京都の周縁という固有の地理的環境によって、京都盆地の原植生であったとされる常緑広葉樹林とはことなる特色がもたらされたのでしよう。

大切なことは、もつとも早く市街化した平安京北郊に近い糺の森が、ずっと森であり続けたことです。一条以北の地域には、禁野である北野や紫野、いくつもの原野、そして供御のために果樹や蔬菜を栽培する広大な園池(京北園)などがありました。梨・桃・柑・柿などの果樹が植えられた人工的な京北園に対して、おそらく禁野などは平安京以前の自然景観を残していたにちがひありません。しかしながら、先述のように北郊の市街地開発によって北野や紫野なども姿を消し、京北園もまた「桃園」の地名のみが伝わっているだけです。

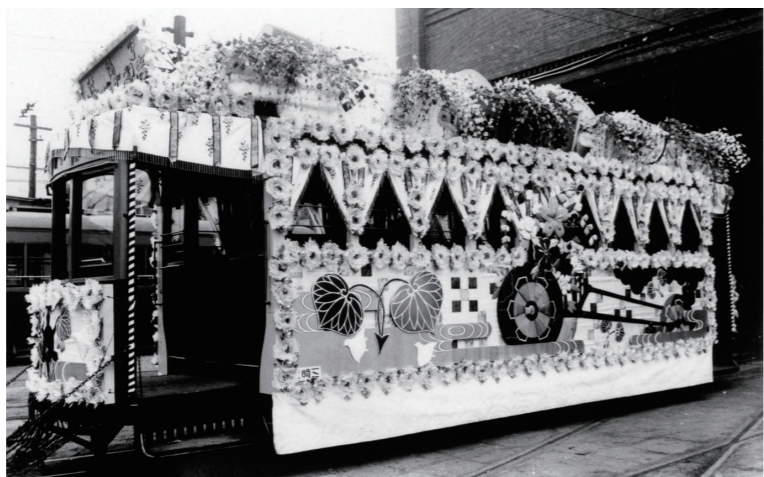
平安京のごく近く、しかも都市発展に呑み込まれた地域のなかに、その原風景をしのぶことができる森があることはじつに「有り難い」ことだと思います。

# 糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人  
世界遺産賀茂御祖神社境内  
糺の森保存会事務局  
www.eonet.ne.jp/~tadsumomori-z

## 式年遷宮とパレード

来る、平成27年4月27日、下鴨神社は第34回・式年遷宮正遷宮を斎行いたします。「式年遷宮」とは、一定の年限の周期で御本殿の御造替(ごぞうたい)を執り行い、御霊代(みたましろ)をお遷し奉ることを言います。御造替が始まる前に御本殿から仮殿に御奉遷されますことを「仮遷宮」と言い、御造替を終え、竣工しました御本殿に再び御奉遷いただくことを「正遷宮」と言います。御遷宮は神社にとって、とても重要な大儀となっております。下鴨神社は、長元9年(1036)、後一条天皇より21年に一度、遷宮を斎行する式年遷宮の旨が出され、天喜四年(1056)の御遷宮を第一回の式年遷宮として執り行いました。その後、世情により長い間、御遷宮を執り行うことができない期間などがありました。文久3年(1863)、孝明天皇が本来の21年に一度の遷宮を執り行うことを御指示なされたことから、再び式年の御遷宮を斎行するようになりました。



御遷宮ごとに様々な奉祝行事が執り行われてきましたが、特に昭和12年(1937)の第30回・式年遷宮は、神社が国家管理下の時代であったこともあり、京都府と市は大々的な奉祝行事を行いました。市電や市バスに花を彩り、花電車・花バスとして運行。京都市内の各戸は国旗を掲揚し、下鴨神社の氏子全戸

では「奉祝正遷宮」と書かれた提灯を掲げ市内を装飾しました。また、式年遷宮奉幣祭では、ラジオの生中継が行われました。奉祝祭では、北馬場の饗宴場で各種演目上演され盛大であったとの記録が残っております。

今回の第34回・式年遷宮の奉祝行事の始まりとして、式年遷宮正遷宮の一年前にあたる4月27日(日)にプレパレードが行われます。パレードは、下鴨神社所蔵の儀装馬車を中心にマーチングバンド、よさこい踊り、提灯行列などが練り歩きます。午後一時に下鴨神社を出発。御池中学校を拠点にし、丸太町通、烏丸通、御池通を巡行します。この巡行路は戦後、賀茂祭(葵祭)が再興された時の行粧路でもあった所縁のある場所です。ぜひ皆様も御観覧いただきまして、共に式年遷宮を迎える御祝いをしていただければ幸いです。



饗宴場の講話に詰めかける人々

4月27日(日)  
午後1時に  
下鴨神社をスタート

プレパレード巡行路図





### 国宝 東本殿・西本殿修理事業

## 檜皮屋根葺き替え進行中

本殿を覆う素屋根の中では、昨年10月より様々な工事が進められています。傷んだ檜皮屋根は全てめくられ、軒回りから新しく葺かれています。檜皮の下には台座となる裏板という平らな木の板をめぐらせますが、本殿では代わりに細長い板が用いられます。この板を斜めに取り付けていくと、下の面が蛇の腹の様に見えることから「蛇腹板」と呼ばれています。



檜皮がめくられた国宝本殿



蛇腹板の取り付け



金具の跡に本来の朱色が覗く階段

下鴨神社本殿の特徴の一つに、朱漆塗りの階段と高欄が挙げられます。前回（平成6年）の修理の際にも塗り直しましたが、紫外線や風雨の影響で色は褪せてしまひ、場所によっては剥離も見られました。今回修理の為、金具を取り外したところ、金具があった場所の色彩が当時のまま残っておりました（写真参照）。完成時には、目にも鮮やかな朱色に生まれ変わります。

### 助成事業

## 糺の森財団は平成25年度実施の文化財保存修理等の事業に助成いたします

- 国宝 東西本殿保存修理事業  
糺の森財団助成金額 30,000,000円
- 第2期糺の森整備工事 / 河合神社東西透塀保存修理事業  
史跡糺の森の景観保全に係る建築物の修理工事及び、平成24年度より実施している、河合神社東西透塀保存修理工事（昨年12月完了）  
糺の森財団助成金額 7,000,000円
- 境内環境保全事業  
重文建造物防火防災設備点検、危険木の伐採等  
糺の森財団助成金額 3,000,000円
- 重要社殿「勅使殿」整備工事  
勅使殿整備の初年度工事  
糺の森財団助成金額 3,000,000円
- 国宝本殿御神宝等保存修理事業  
殿内御神宝、美術工芸品等の初年度修理事業  
糺の森財団助成金額 5,000,000円
- 河合神社周辺整備工事  
河合神社境内の防火防災設備工事の継続事業  
糺の森財団助成金額 2,000,000円
- 流鏑馬神事の保存と騎射育成事業  
糺の森財団助成金額 500,000円
- 葵の庭整備工事  
大炊殿葵の庭剪定等整備工事  
糺の森財団助成金額 250,000円



河合神社 東西透塀工事完了

### 森の中で音楽を聴こう

## 秋の糺の森コンサート「音の森」開催

10月は「HATAO&NAMIE」によるアイリッシュフルートとハーブの調べ、ヨーロッパのケルト文化圏やスカンジナビア半島からの上質なメロディーを自由に想像力豊かに演奏。11月は秋のスペンシャルとして2組、おなじみの「DRAKSKIP」の北欧音楽のコンサートと「THE NEW RAG TIME BAND」によるガーシュインの世。尚、9月は雨天の為中止となりました。



### 世界遺産 糺の森 文化講演会 開催

平成25年秋講座 「和を以って貴しとなす」鞠道精神  
蹴鞠の魅力、伝えます。

平成25年12月8日(日)下鴨神社の研修道場において、蹴鞠保存会理事長の上田恒弘氏と会員の小松明氏を講師にお迎えして、「雅な世界―蹴鞠の楽しみ方―」というテーマで開催いたしました。蹴鞠の歴史・作法そして観賞時の楽しみ方など、大変興味深い内容の講演でした。



平成26年春講座 下鴨神社の文化財建造物保存修理について  
そして、この国の誇り。

平成26年3月21日(日)下鴨神社の研修道場において、京都府文化財保護課の鶴岡典慶氏を講師にお迎えして開催いたしました。数多くの文化財の修復工事に携わってこられた鶴岡氏に、27年の式年遷宮に向けて現在進めています下鴨神社の工事について、その状況を語っていただきました。



# 催事案内

遊び、学ぶ、  
糺の森のつどいあれこれ

## “春の”糺の森コンサート「音の森」

月日：4月29日(火・祝)  
5月24日(土) 6月21日(土)  
時間：午後2時～3時(予定)  
場所：河合神社(糺の森南側)  
参加：無料(自由)  
自然の中で楽しめるコンサートです。春の一日、気持ちのいい森の中でお楽しみください。4月29日はJAZZコーラス～花の宴～です。

## 世界遺産 糺の森文化講演会 平成26年夏講座

月日：8月中旬 場所：下鴨神社 参加：無料  
※現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 [www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)  
下鴨神社 [www.shimogamo-jinja.or.jp](http://www.shimogamo-jinja.or.jp)

## 「世界遺産 京都下鴨神社展」

※下鴨神社が所蔵する門外不出の社宝などを展示する特別展覧会。普段ご覧いただくことのできない品々が展示されます。  
日時：8月20日(水)～26日(火)  
午前10時～午後6時  
場所：名鉄百貨店本館10階クローバーサロン(名古屋駅前)  
参加：無料(自由)

## 第24回 蛍火の茶会

日時：6月14日(土) 午後5時～9時  
場所：下鴨神社楼門内  
※明治の納涼茶席を再開した「蛍火の茶会」。森の中を飛び交う蛍とともに、裏千家によるお茶席をお楽しみください。  
参加方法：  
●お茶席  
財団会員および招待者のみ参加。会員の方は事前申込(5月中旬案内)。当日財団入会者も参加可。  
●蛍鑑賞(境内および森)  
自由。7時頃に森散策路に放流。

## 同時開催「糺の森納涼市」

時間：午後1時～9時 場所：楼門前  
※京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。